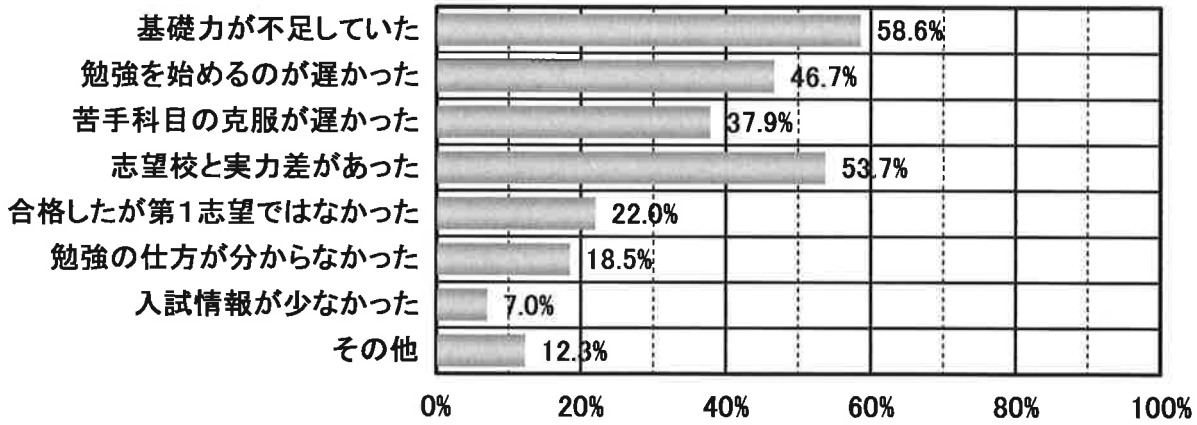
G. 受験生、学びの現状（予備校生のアンケートより）

１．今年の受験結果の要因（浪人の理由）複数回答

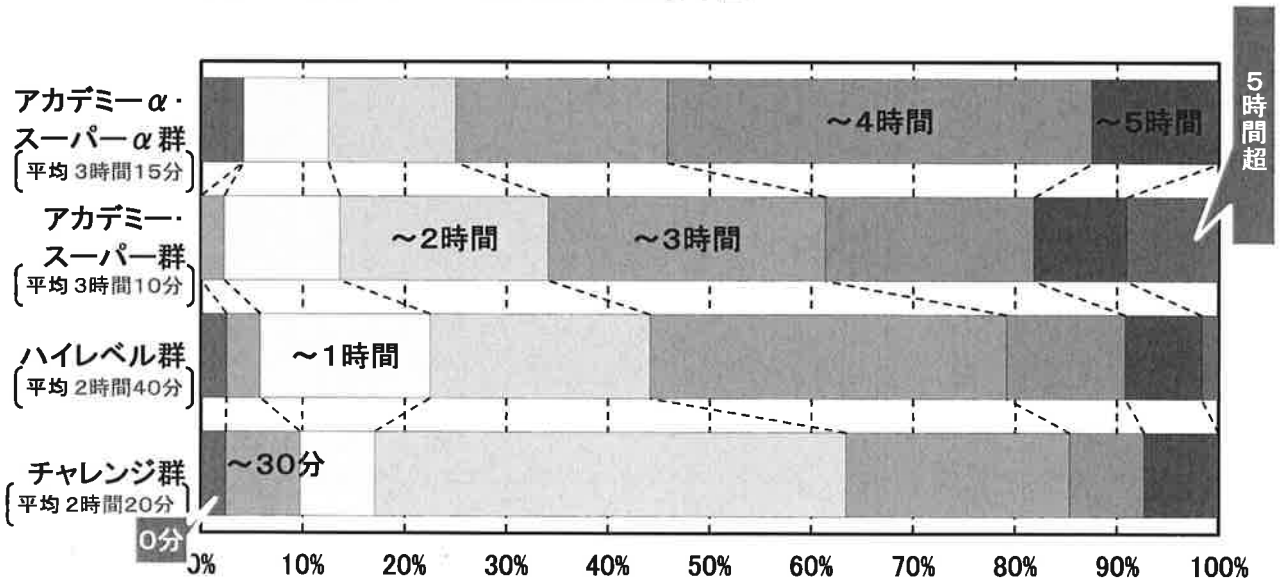


→　浪人生が受験に失敗した要因として特にあげているのが「基礎力不足」「志望校との実力差」と「勉強を始めるのが遅かった」。受験に対応するにはやはり基礎の確立が大切ですし、そのためには準備期間が必要です。

→　高校３年生　＝　高校１・２年生は修了　＝　まだ高校生活の１／３が残っています。でも入試では出題範囲の８割が高校１・２年生の学習からと言われています。つまりここまで積み上げてきた基礎が受験には重要になってきます。

２．受験生の家庭学習時間（今の段階で）

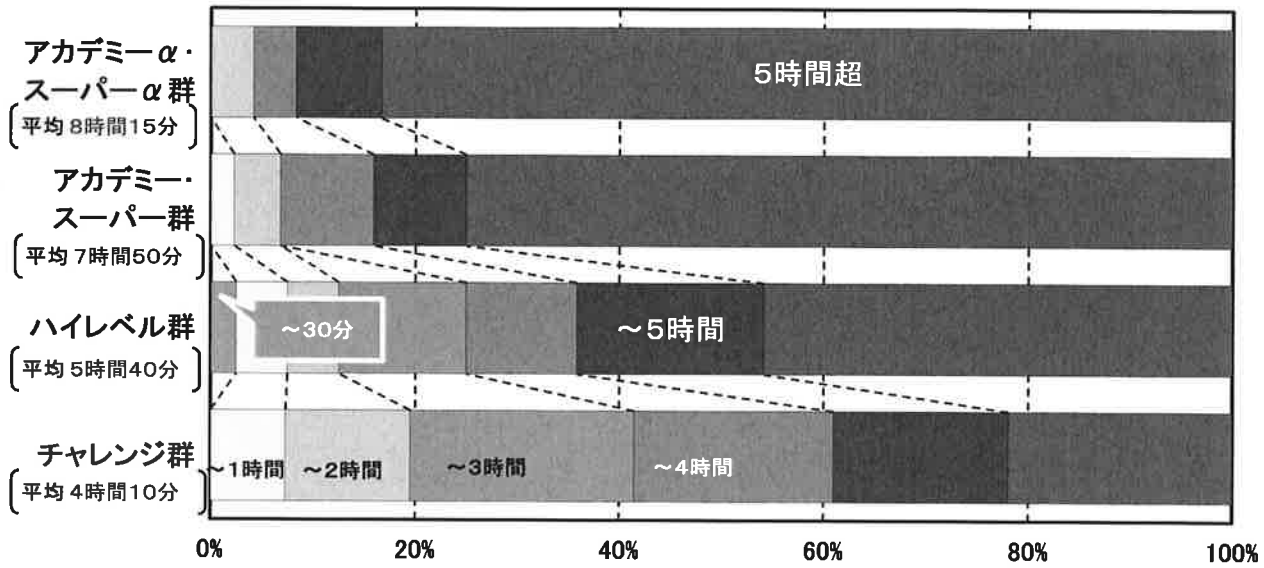
■ 高3／夏休み前　平日の家庭学習時間 ■



→　夏休み前までは最上位層と中下位層で平均の学習時間の大きな差はありません。しかしアカデミーα群では半数以上の人が４時間以上の学習時間を確保しているのに対して、チャレンジ群では２時間以下の学習時間の人が６割以上になっています。高校３年生の夏休み前、最低でも一日３時間は学習時間を確保したいです。

３．受験生の家庭学習時間（夏休みになったら）

■ 高3／夏休み中　平日の家庭学習時間 ■



→　夏休み中の学習時間は最上位層と中下位層で大きく異なります。アカデミーα群は平均で８時間を越えているのに対して、チャレンジ群は約４時間が平均と半分の学習時間にとどまっています。夏休みは苦手を克服し、夏以降の伸びを生み出すための重要な時期になります。夏休み前にしっかり学習習慣を確立し、夏休みの学習へとつなげていきたいです。

４．夏の学習基本方針

・苦手の克服中心　→　受験、特に国公立大受験は苦手教科を作らないことが鍵になります。現状もし苦手があるようなら早めに克服しておきたいところです。ただ苦手は克服するのに時間がかかります。そう考えると比較的時間の融通ができる夏休み中が苦手克服のチャンスと言えます。

・復習中心　→　夏休みは時間があるようで気を抜けばあっという間に終わってしまいます。しっかり計画を立てた上で臨みたいです。その際に一番意識したいのが、ここまで学んだことの復習です。たとえ日々復習をしっかりやっていたとしても、時間がたてば忘れてしまっている部分もあると思います。夏休みにしっかり復習しておくことで、夏以降最後の追い込みにつながってきます。

・受験生モードへの切り替え　→　部活も終わり、文化祭も終わり、本格的に受験生へと意識の切り替えをしなければいけないのが夏休みです。もしまだ受験生モードになりきれていないようなら、早く切り替えることが大切です。その際自宅に閉じこもるのではなく、学校の補習に参加したり、図書館などを活用すると良いでしょう。また予備校の夏期講習や自習室などを利用し、他の受験生の姿に刺激をもらうことも切り替えに役立つと思います。